

吉岡知広 チェロ リサイタル

Grassi Trio の仲間と共に



Cb. 田中 洸太郎
(※)

Pf. 脇 みずき



チェロ：吉岡 知広

Tomohiro YOSHIOKA, Cello

1988年生まれ、仙台市出身。6歳よりチェロを始める。桐朋女子高校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。2011年よりドイツ、ライプツィヒ音楽演劇大学大学院に在学するとともに、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラと学生契約をし在籍。卒業後はライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラアカデミーに在籍した。

第9回ピバホールチェロコンクール第4位入賞。また2016年の仙台クラシックフェスティバルのグランドフィナーレでは仙台フィルハーモニー管弦楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲を共演、好評を博す。

これまでにチェロを金木博幸、青木十良、藤原真理、毛利伯郎、クリスティアン・ギガーの各氏に、また弦楽四重奏を中心に、室内楽を今井信子氏、東京クアルテットに師事。

現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団に首席チェロ奏者として在籍。

また2020年より仙台市市民文化事業団・KHB東日本放送共催のコンサートシリーズ「イズミノオト」の企画コーディネーターを務める他、国内の様々なオーケストラの客演首席奏者など幅広く活躍している。

ピアノ：脇 みずき

Mizuki WAKI, Piano

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。2011年に渡独し、デュッセルドルフ・ロベルト・シューマン大学を経て、ライプツィヒ音楽演劇大学修士課程リート伴奏科を最高得点で修了。

Schmolz-Bickenbach コンクール(デュッセルドルフ)リートデュオ第2位、Lortzing 声楽コンクール(ライプツィヒ)にて特別伴奏賞を受賞。2016年2月にはチェリストとのスペイン国内におけるコンサートツアーに対して、若手音楽家のための特別賞を受賞。マックスレーガー没100年記念に際したプロジェクトに参加、CDが発売される。

ライプツィヒ音楽演劇大学にてヴィオラのタチアナ・マスレンコ及びチェロのペーター・ブルンスのクラスの伴奏助手として後進の指導にあたる。数々の夏期講習やオーケストラのオーディションにて公式伴奏を務める。帰国後、主に伴奏者として演奏活動を行なっている。これまでに、ソロを阿部裕之、ゲラルド・ファウト、リート伴奏をアレクサンダー・シュマルツの各氏に師事。



コントラバス：田中 洸太郎

Kotaro TANAKA, Contrabass

北海道恵庭市出身。北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽科卒業。

桐朋学園大学音楽学部研究科を修了し、2011年からドイツに留学。ライプツィヒ音楽演劇大学マスター課程で学ぶ。

2015年に帰国後はフリーランスの奏者として関東を中心に国内の様々なオーケストラに客演奏者として出演する。

コントラバスを藤澤光雄、西田直文、Frithjof-Martin Grabnerの各氏に師事。

これまでに小澤征爾音楽塾に参加、桐朋オーケストラアカデミー研修課程修了。蓼科音楽コンクール弦楽器部門第二位、Carl Fresch Akademie

Baden-Badenで奨励賞を受賞する。

現在は仙台フィルハーモニー管弦楽団コントラバス奏者として活動しながら仙台ジュニアオーケストラの講師も務めている。



<プログラム>

- ・マルティヌー：スロヴァキアの主題による変奏曲
- ・ストラヴィンスキー：イタリア組曲
- ・プロコフィエフ：チェロソナタ
- ・サン＝サーンス：

動物の謝肉祭 (Grassi Trio 版)※

<全席自由>
一般：3,000円
学生：1,500円

宮城野区文化センター、藤崎、仙台三越、カワイ仙台
チケットぴあ (Pコード：221-153)

2022
8/25(木)

18:30 開場 19:00 開演
宮城野区文化センター
パトナホール